

みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定に伴う実態調査について

【調査の目的】

令和 8 年度に「みやしろ健康福祉プラン-高齢者編-【高齢者保健福祉計画・第 10 期介護保険事業計画】」を策定するため、要介護者を含む高齢者の生活状況やサービスニーズ等を把握することにより、「要介護状態になるリスクの発生状況や地域の抱える課題の特定」、また、「必要とされるサービスの量と提供体制を確保」するための検討資料とするともに、「広く高齢者が安心、安全に生活していくことができる地域づくり」を行うための基礎資料とする。

【調査内容】

①宮代町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

高齢者等の日常生活や健康状態、介護予防に関する意識、社会参加状況等の実態を調査するもの。

<対象者>

- 1)65 歳以上の高齢者 1,000 人(無作為抽出)
- 2)要支援認定者(要支援 1・2 及び事業対象者・65 歳以上) 約 400 人

②宮代町在宅介護実態調査

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方とその介護者の実態を把握するもの。

<対象者>

- ・在宅で生活する要介護認定を受けている方と主介護者(対象:約 400 人)

【備考】

今回、補聴器助成を必要とする高齢者がどれほどいるのかに加え、おむつ支給事業・配食サービス・低所得者利用者負担対象者のサービス必要の是非を含めた調査をするので、調査票にそのデータが取れる調査項目を加える。